

埼玉：県向け請願提出行動 高校生も参加！！

2016.12.14

NO. 978

11.30署名提出集会@県庁 65637筆の署名数を達成！

私教連情報

毎月一回発行
編集発行責任者
埼玉私教連
中央執行委員会

ゆきとどいた教育をすすめる対県要請集会在去る1月30日(水)県庁第三庁舎講堂で行われました。

会場には県総務部長、学事課長、学事主幹など10数名の県幹部が揃いました。

私学からは、提出集会に54名の教員・父母・生徒が、また公立学校からも40名以上が参加し、それぞれの立場から私学助成や、とくに運営費補助増額、公教育費の増額の訴えを行いました。

自由の森学園高校父母の小林淳子さんは保護者にとって学費が家計に重くのしかかっていること、まだまだ私学助成が足りないことを強く訴えました。

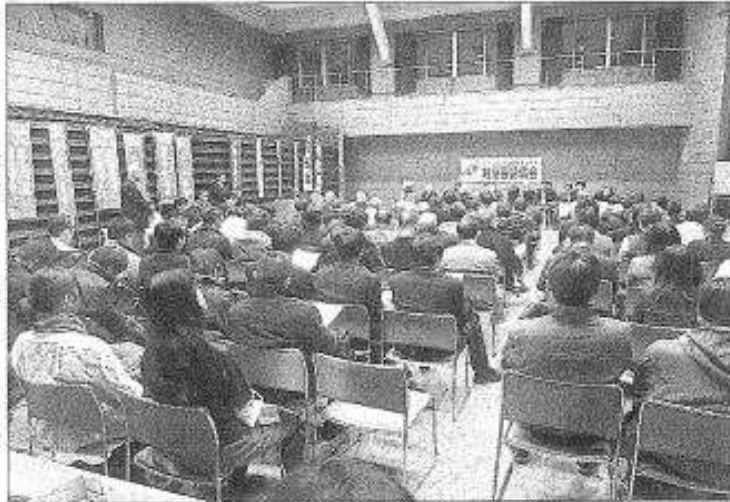
自由の森学園の吉岡実紀さんと正智深谷高校の山内遥太さんが生徒代表として訴えました。山内さんの訴えは以下の内容でした。

「山内遥太です。私立高校を最初に意識したのは、兄が私と同じ正智深谷高校に入学した時でした。

兄が私立に入学したため、一時期家計のやりくりが厳しくなったと両親が話していた事を覚えています。そして私も、兄と同じ私立の正智深谷高校に入学しました。中学の頃、なかなか成績が上がらず悩んでいたのも、同じくらいのレベルの公立高校と比べ進学率の高い私立高校を選びました。

しかし、入学してみると、私のクラスは41名もいて教室はいっぱいでした。公立高校と比べ、学習環境がいいとはいえません。私立高校に通っている一人として、「学費」と「学習環境」は切実な問題です。学費は、私たちの生活にとっても大きな影響を与えます。そして学習環境の改善は、学力を伸ばしたいと思って私立を選んだ私たちにとっては、切実な要求です。私学助成は、社会を担う子どもたちにとって、とても必要なものです。決して絶やしてはならないものです。私立学校の学費と学習環境の改善のために、増額をお願いします。」

この集会あと、参加者全員で浦和駅前までパレードをして、私学助成の増額を市民に訴えました。今年の県への提出署名数は6万5637筆となりました。来年2月頃を予定しています。1筆でも多く、私たちの思いを届けるため頑張ります。



高校生代表の吉岡実紀さん(左)と山内遥太さん



父母代表の小林淳子さん



コールを担当した自由の森の菅野実太さん→

